

やってみよう! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、オリンピックをはじめ、たくさんの国際大会で活躍してきた、フィギュアスケート男子の羽生結弦選手についてのお話です。

羽生競技会引退を表明

「取るべきもの取れた」

フィギュアスケート男子で2014年ソチ、18年平昌両冬季五輪王者の羽生結弦(27)はANAが19日、東京都内で記者会見し「プロのアスリートとしてスケートを続けることを決意した。競技会に出るつもりはない」と話し、五輪、世界選手権など競技会からの引退を表明した。「競技会に関して、取るべきものは取れた」と理由を語り、今後はアイスショーに軸足を移す。2月の北京五輪で3連覇を逃して4位に終わった後、最終的な決断に至った。

プロ転向後も子どもの頃からの夢だった前人未だのクワッドアクセル(4回転半ジャンプ)成功を目標に掲げた。北京五輪のフリーでは挑戦して転倒した超大技の習得を目指し「全力で努力を続け、理想の形のフィギュアスケートをさらに追い求めたい」と意欲を口にした。

プロ転向 ショーに軸足

羽生は4歳でスケートを始めた。11年に出身地の仙台市で練習中に発生した東日本大震災を乗り越え、14年ソチ五輪で同種目の日本勢初の金メダルに輝いた。17年には右足首に大けがを負ったが、復帰となった18年平昌五輪では同種目で66年ぶりの2連覇を達成した。冬季五輪金メダリストで初めて、個人としては最年少23歳で国民栄誉賞を受賞した。

平昌五輪後は「(プロ転向を)毎試合、毎試合思っていた」と打ち明けた。20年に欧州を除く四大陸選手権を初制覇し、五輪や世界選手権、グランプリ(GP)ファイナルなど主要国際大会のタイトルを総なめにした。10〜11年シーズンにシニアに転向後、10年以上も世界のトップで活躍してきたが、一時代の終わりを告げた。



記者会見するフィギュアスケート男子の羽生結弦。競技会からの引退を表明した=19日午後、東京都内のホテル

7月20日の朝刊にのった記事

①フィギュアスケートの羽生結弦選手(27)が記者会見をしました。どんな内容でしたか

②羽生選手は世界の舞台でタイトルを獲得してきましたが、偉大な記録にはどんなものがありますか

③羽生選手はこれからどうしますか

④羽生選手が、これからも目標にしていること、また子どものころからの夢で成功させたい超大技は何ですか

⑤羽生選手の記者会見や活躍を振り返って、どんなことを感じましたか

答えは8月7日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみようと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて8月6日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

24日 週刊まなびー

ワークシートの解答例

- ①坑道に展示されているマネキンのアイドルグループ
- ②鉱山の歴史を紹介するため、1974年の展示施設オープン時から、60体のマネキンで坑道の作業を再現してきた。2017年にデビューし、19年までに3曲のオリジナル曲を発表した
- ③新型コロナウイルス感染拡大の影響
- ④坑道での作業の役割や全体の物語をつくり込んでいる▽鉱山で命がけの作業をしていたーなど
- ⑤自由記述